

採血に関しての注意事項は、以下のとおりです。

採血が難しい、血管が細いと言われたことのある方は、検査時に検査担当者にお伝えください。

また、採血をされる方は、以下の事項をご確認ください。

・採血後の出血・あざ・痛み・

採血を複数回した場合、採血が困難な場合、あるいは採血後の止血が不十分な場合、採血部位が青く腫れたり、痛みが続くことがあります。通常は数日～1週間ほどで軽減し、採血部位の色も消えていきますが、回復が遅い場合、ご心配な場合は、健診センターにご連絡ください。

・採血時の血管迷走神経反射

過度の緊張や、空腹、針が苦手な方は、採血で針を刺した時に血圧が低下し、冷や汗が出て、気分不快や立ちくらみが起きることがあります。体調が悪い方や、以前に採血で気分不快を経験したことのある方は、事前にお知らせください。

・末梢神経の合併症

採血した際、注意深く採血しても、針を刺したことが引き金になって、稀に痛みやしびれ、筋肉の萎縮を起きることが報告されています。その事例と判断された場合は、ペインクリニック等で治療が必要となることがあります。

・